

## VI 漁業指導用通信業務

海上における漁船漁業の安全確保と漁業指導監督に関する無線通信業務を行うため、昭和4年2月18日、釜石市只越町の岩手県水産試験場に県営漁業用無線局を開設し、以来、平成6年には釜石無線漁業協同組合に全面業務委託を行いながら漁船漁業者等の安全操業に務めている。

### 1 沿革

昭和4年2月	釜石市只越町の水産試験場に漁業用無線局を開設し県業務として運用開始
昭和14年6月	釜石市新浜町に水産試験場が移転新築したことに伴い無線局を移転
昭和25年12月	同年5月2日の電波法制定により、岩手県（漁業指導用海岸局）と釜石鯉鮪漁業協同組合（漁業用海岸局）が免許人となる二重免許の業務運用開始
昭和30年11月	釜石無線漁業協同組合が発足（釜石鯉鮪漁業協同組合の無線部門が独立）
昭和31年6月	釜石無線漁業協同組合が釜石市大平町に無線局を新設移転。県業務も移設
昭和57年4月	県業務の一部を釜石無線漁業協同組合に委託
昭和61年12月	20日、尾崎送受信所開設（27MHz/1W局）
平成6年4月	県業務の全部を釜石無線漁業協同組合に委託
平成7年5月	25日、北山崎送受信所開設（27MHz/1W局・防災行政無線利用） 開局3日後、種子島沖の漁船からの遭難信号受信、無事救助
平成8年12月	27MHz/1Wシンセサイザー化
平成11年2月	GMDSS (Global Maritime Distress & Safety System 海上における遭難及び安全に関する世界的制度) 完全実施、モールス信号SOSは終了
平成11年9月	漁業気象連絡室（漁業無線気象通報業務取扱）設置、運用開始
平成13年7月	27MHz/1W局、全周波数54波指定
平成17年7月	9日、五島列島の漁船からの27MHz遭難信号受信、無事救助
平成17年8月	サンマ漁海況情報放送開始
平成19年2月	無線電話3E 1,725kHz指定
平成19年6月	3日、北大東島沖の漁船からの27MHz遭難信号受信、無事救助
平成19年6月	総務省東北総合通信局による沿岸漁業無線27メガネットワーク検討会開催
平成19年8月	中短波電信空中線電力指定変更（A1A500Wを250W）
平成22年6月	波ラジ27携帯サイト開設（沖合波浪計情報等： <a href="http://jft27.blog.fc2.com/">http://jft27.blog.fc2.com/</a> ）
平成23年3月	11日、東日本大震災（非常通信による災害情報伝達、無線局避難所）
平成24年3月	23日、27MHz/1W、A2D指定（データ通信用）
平成28年3月	7日、尾崎送受信所指定変更（27MHz/5W局、A2D）、 大槌送受信所開局（27MHz/5W局、A2D）（釜石・大槌統合海岸局整備事業）
平成28年5月	19日、漁業無線気象通報業務、新システム（インターネット防災情報提供）へ移行
平成28年12月	尾崎送受信所デジタル放送開始

## 2 平成 28 年度通信業務概要

### (1) 定時通信業務

県漁業指導調査船、県漁業取締船、県立高校実習船との調査、観測、航路情報等の概要に関する定期情報発信

- ア 岩手丸 海洋観測、漁場、魚礁、魚類分布等の漁業指導調査情報、その他  
(魚類：イカ、赤イカ、サンマ、マイワシ、イサダ、秋サケ等)
- イ 北上丸 海洋観測、漁場、魚礁、魚類分布等の漁業指導調査情報、その他  
(魚類：イカ、赤イカ、イカナゴ、ヒラメ、カレイ、ケガニ、秋サケ等)
- ウ はやちね 漁業取締パトロール情報
- エ 岩鷲 漁業取締パトロール情報
- オ りあす丸 鮪延縄漁業実習調査情報 (ジョンストン島、ハワイ島周辺情報)
- カ 海翔 漁業実習調査情報

### (2) 周知放送業務

主に本県所属漁船及び本県沿岸海域40マイル内における漁船等船舶に対する航行警報、海上気象情報、漁業海況情報等を24時間体制で周知し漁船等船舶の安全航行に務めているとともに、小型漁船については、27MHzで北山崎局(1W)と尾崎局(5W)で同時放送し、必要に応じて県内の9海岸局を通じて周知している。

- キ 航行警報日本周辺及び外国水域での射撃訓練情報、危険漂流物等に関する情報、灯台及び測位システムの運用状況に関する安全管理情報
- ク 気象情報海上気象予報、警報、注意報、及び台風、地震津波情報  
(平成11年9月16日盛岡気象台長と水産技術センター所長との協定)
- ケ 漁業情報水産技術センター発表の漁況、海況、市況、及び指導調査船、実習船による漁海況、魚類分布、操業状況及び漁場管理等に関する情報  
\*漁海況・海上気象情報提供ブログ(波ラジ27：<http://jft27.blog.fc2.com/>)  
指導調査船情報(岩手丸・北上丸)、GPS波浪計情報(国土交通省提供)  
実習船動静情報(りあす丸・海翔)等を24時間提供  
\*岩手日報に掲載：調査船・実習船動静
- コ その他岩手県海区漁業調整委員選挙広報(7月25日)  
「毎月1日は海難防止の日」の広報(毎月1日)



### (3) 海難、医療等緊急通信業務

主に本県所属漁船及び本県沿岸海域40マイル内における漁船等船舶に発生した海難救助要請通信、緊急医療要請通信の24時間体制による受信に務め、GMDSSの適正な実施運用に務めているほか、海上保安部、警察、医療機関等と連携協力して漁船等船舶の安全確保に務めている。

\* 平成28年度に取り扱った主な海難、医療等緊急通信業務は次のとおり。

#### サ 海難通信(海難、捜索救助等に関するGMDSS通信)

平成11年2月1日にGMDSS通信(漁船1日3回以上の定時連絡)の完全実施。衛星系通信と無線系通信による通信手段を利用し、沿岸や沖合漁船の海難事故等に対応した。

(海上保安庁、水産庁、全国漁業無線協会からの海上安全情報(ミサイル発射含む)の入手)

年月日	概要
平成 28 年 8 月 3 日	北朝鮮ミサイル発射（日本海、周知安否確認）
平成 28 年 8 月 24 日	北朝鮮ミサイル発射（日本海、周知安否確認）
平成 28 年 9 月 5 日	北朝鮮ミサイル発射（日本海、周知安否確認）
平成 28 年 11 月 10 日	三宅島沖にて漁船座礁による遭難通信幸領
平成 29 年 2 月 3 日	ペルー沖火災漁船の僚船による救助遭難通報
平成 29 年 3 月 6 日	北朝鮮ミサイル発射（日本海、周知安否確認）

シ 医療通信（医療要請船舶と医療機関等とのバックアップ交信）

無線により医師から医療助言を受けるシステムであり、漁船は掖済会病院（主に宮城利府掖済会病院）と衛星系通信や海岸局経由の無線医療電報にて連絡しています。

ス 非常通信（県内漁船に対する主な地震津波情報、不審船情報等の関係情報交信）

年月日	概要
平成 28 年 8 月 30 日	台風 10 号岩手県沿岸域上陸、大災害（無線局アンテナ破損）
平成 28 年 10 月 16 日	宮城県沖地震情報（緊急地震速報、岩手県震度 3）
平成 28 年 11 月 22 日	福島県沖地震、岩手県津波注意報（岩手県震度 4）
平成 29 年 2 月 28 日	釜石両石湾周辺山林火災通報（漁船発見）

(4) 機器整備点検業務

- \*平成 28 年度北山崎局、尾崎局、釜石局の電波法第 73 条第 1 項の規定による無線局の定期検査合格（全局）
- \*平成 28 年 5 月、10 月北山崎定期点検整備実施（平成 29 年 2 月、蓄電池交換）
- \*無線局免許更新（免許有効期間平成 28 年 12 月 1 日～平成 33 年 11 月 30 日）

3 平成 28 年度釜石無線局の通信業務取扱実績（平成 28. 4. 1～29. 3. 31）

送受信別	区分	大型船（短波・中短波）注 2			小型船（超短波 27MHz1W）注 1				公衆通信
		県指導用通信	GMDSS	漁業通信	県指導用通信		漁業通信		
			定時連絡		北山崎	尾崎	尾崎	大槌	
受信	交信通数	1,041	5,608	5,077	153	457	1,263	66	23
	交信時分	1,885	26,546	6,654	239	645	995	70	115
発信	交信通数	7,643	—	85	41,654	24	44,179	42,083	47
	交信時分	14,493	—	6,496	27,305	346	29,457	27,556	135
合計	交信通数	8,684	5,608	5,162	41,807	481	45,442	42,149	70
	交信時分	16,378	26,546	13,150	27,544	991	30,452	27,626	250
交信隻数(複数)		718	3,160	5,050	112	340	1,260	67	60

注 1 北山崎局、尾崎局、大槌局は同時放送（同時発信）である。

2 GMDSS 申し合わせ通信：平成 7 年 1 月 31 日以前に建造された漁船に対し「操業の安全のための通信に関する申し合わせ事項」により義務付けられた 1 日 3 回以上の漁業無線局との通信。

#### 4 その他（表彰・広報関係等）

##### （1）表彰

平成 28 年 6 月 1 日「電波の日」に東北総合通信局長表彰を受賞。（釜石無線漁業協同組合）  
東日本大震災により被災した海岸局の不感海域を解消し漁業者の安全を確保するため、広範囲かつ迅速な情報伝達が可能となる統合海岸局を新たに整備し水産業の早期復興に尽力

##### （2）講習・講演

名称	主催・会場	期日	対象	人数
災害発生時における漁業無線局の役割について	徳島県農林水産部 徳島市	H.28.9.6	徳島県内漁協役職員 四国漁業無線協会	60 人
漁業無線の発災時の重要生に関して	全国漁業無線協会 東京都	H28.10.6	全国漁業無線協会 海岸局職員	50 人
漁業無線の発災時の重要生に関して	愛知県漁業無線協会 名古屋市	H29.2.14	愛知県内漁協役職員	60 人
漁業無線局のデジタル通信について	全国漁業無線協会 東京都	H29.3.8	全国漁業無線協会 海岸局職員	50 人

##### （3）新聞等

媒体	時期	題名
冊子	H28.10.6	発災時の漁業無線の重要性について
新聞	H29.3.10	震災の教訓を忘れずに、釜石漁業用海岸局の通信記録より